

報告期間	ユーザー様名		S I 名・指導者名	
2007年11月1日 から	C社		エプソン i ソリューションズ	
2008年5月30日 まで			小池・池原	
製品の内容、製品種類数、製品の単価(最高・平均・最低など) 電子機器の試作、中小ロット品、量産品、カスタムメイド省力化機器等 (設計より製品化まで一環受注)				
生産形態、工程の要素 <input checked="" type="checkbox"/> 組み立て <input checked="" type="checkbox"/> 機械加工 <input type="checkbox"/> 板金 <input type="checkbox"/> プレス <input type="checkbox"/> 溶接 <input type="checkbox"/> 塗装 <input type="checkbox"/> メッキ <input type="checkbox"/> 研磨 <input type="checkbox"/> 鋳物 <input type="checkbox"/> 鍛造 <input type="checkbox"/> 熱処理 <input checked="" type="checkbox"/> 実装、SMT <input type="checkbox"/> 溶解 <input type="checkbox"/> スリット <input type="checkbox"/> 切断 <input type="checkbox"/> 溶断 <input type="checkbox"/> 成型 <input type="checkbox"/> 圧延 <input type="checkbox"/> 凝固 <input type="checkbox"/> 接着 <input type="checkbox"/> 食品加工 <input type="checkbox"/> プラスチック加工 <input type="checkbox"/> 化学薬品 <input type="checkbox"/> 衣類(裁断・縫製・ホック) <input type="checkbox"/> 皮、ゴム、紙加工 <input type="checkbox"/> 織、編 <input type="checkbox"/> 印刷(除マニュアル等)・手書き <input type="checkbox"/> 染色 <input type="checkbox"/> エッチング その他(設計)				
指導種類	<input checked="" type="checkbox"/> 新規導入 <input type="checkbox"/> バージョンアップ <input type="checkbox"/> 再導入 <input type="checkbox"/> その他()			
今回指導回数				
TPiCSバージョン	Ver 3. 1			
オプション・DB	受注販売管理・製番管理 Oracle 10g			
アイテム件数 10,000 件	BOM 10,000 件	所要量計算 1回/日	製番展開 1回/日	
実績インプット 50 件/日	伝票発行 1回/日	伝票発行 1件/回	製番展開 5件/回	
出席者	N専務、C顧問、K部長他関係者多数			
今回の指導目的/経過 (発言者と内容)				
2007年10月の指導レポートに取り上げた、顧客である。				
受注入力～製造の製番展開～部品発注MRP～実績入力				
原価計算は材料費のみ月別総平均PRGを弊社にて開発し導入。				
現在TPiCSに載せた製品はDailyに入力され、原価計算も翌月初日にFixしてきている。				
但し現行システムは				
①受注からそのまま、日程展開し製造計画を立てている				
②途中ユニットなどがあるが製品の下は購買部品1階層の管理				
③製品の完成入力も部品在庫の引落のためにやっている				
状態であり、生産管理システムとして完全機能していない状態である。				
ここで、購買関係が軌道に乗り、効果も現れてきたので、第2ステップとして位置つけていた製造への適用検討を開始する。				
製造への展開にあたっては				
①受注から製番展開時に製造の計画を立てる				
②そのために負荷山積みなどをみれるように標準時間を整備する必要がある				
③それにより本当に守るべき、製造スケジュールが共有される				
④現在、把握していない、顧客よりの無償支給部品も着手信号機を本当に使えるようにするために管理する。				

⑤製造では実際にかかった時間を収集し標準時間の精度を上げていく。

⑥工程展開するため、かなりリアルタイムでの実績収集が必要。

といった、課題がある。

2回に分けて、T P i C Sの製造も含めた標準のオペレーションをデモし、
製造などへ機能を紹介した。

結 論

今後、

どこまで、精緻に管理するか、どこは手を抜き目を瞑るかを

お客様と話し合いながらトータルの生産管理システム化への検討を開始する。

検討事項・要回答事項・要継続審議事項

事項	今後のすすめかた検討	担当部署	C社様	期限	
事項		担当部署		期限	
次回開催日(予定)	次回開催場所(予定)	議事録作成日	議事録作成者		
6 / 3	C社様	2008年5月29日	小池直之		

Format1.1